

オンライン研修会（専門分野）

福祉現場でも必要なトラウマケアの知識 ～トラウマインフォームドケア～（実践編）

視聴期間

R5年3月15日（火）～R5年3月31日（金）

方法・定員

Webによるオンライン配信・定員制限なし

申込

申込用紙に必要事項をご記入の上、メール又はFAXにてお申込み下さい。
お申込み後にメールにてYouTubeアドレスをお送りいたします。

講師

武田 好美（たけだ このみ）
ふらっと船橋相談員
公認心理師 臨床心理士

参加無料

基幹相談支援センター主催（専門分野）研修として表題の第2段を企画致しました。前回はトラウマに関する共通認識を得るための知識等に主眼を置き、起因から特性、誘発されて起こる症状などをお話致しました。皆さんも対応にあたり、励ましや助言・指示はマイナス効果である事はご存知かと思えます。「過去の事だから・早く忘れよう・私はこうして乗り越えた・こうすればいい」などは本人の無力感を強めてしまいます。もしかすると、何気なく口にしてしまう事はありますか？難しいですね。

また、支援者にとってもトラウマインフォームドケアを理解するうえで支援者自身の負荷（バーンアウト）についても説明をしています。これはトラウマ体験を繰り返し聞くことで、支援者も同様の感情的、身体的苦痛を体験したり、支援者自身の内的世界観が変容してしまうからです。

今回は実戦編として、先に得た知識を基にさらにその内容を深めて頂ければと考えます。

▶ 講師より ◀

昨今、発達障害の知識が浸透したように、トラウマの知識も多くの人が当たり前に有することが国際的にも求められています。

前回の研修では、逆境体験やトラウマ体験を抱えている方は珍しくないこと、そしてそのような体験がおよぼす影響や症状についての知識を共有いたしました。

今回はその知識をベースに、「トラウマ治療の専門家」ではない私たち福祉の支援者 ♡ が、どのようなことができるのかを一緒に勉強できる機会にしたいと考えています。トラウマについてこれから勉強しようという方のご参加も大歓迎です。

▶ お問い合わせ・申し込み ◀

ふらっと船橋
＜ 担当 清水・正木 ＞
〒273-0021 船橋市海神
1-31-31ジュネス海神101
TEL / 047-495-6777
FAX / 047-495-6776
E-mail/
flat-funabashi@key.ocn.ne.jp

